

宮城県感染症発生動向調査情報(第22週)

宮城県【平成27年06月04日】発行

宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2015. 5. 25 ~ 5. 31 ・ 第22週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第19週	第20週	第21週	第22週
水痘	2 0.40	2 0.20	2 0.40		5 1.67	2 0.40	5 2.50	26 0.96	44 0.75	832	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎	1 0.20	1 0.10						3 0.11	5 0.08	161	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	84 16.80	39 3.90	39 7.80	30 15.00	11 3.67	14 2.80	20 10.00	331 12.26	568 9.63	11,105	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	10 2.00	15 1.50	8 1.60			1 0.20	1 0.50	29 1.07	64 1.08	398	レ→	○→	○→	○
伝染性紅斑	2 0.40	7 0.70	3 0.60		2 0.67	7 1.40	5 2.50	23 0.85	49 0.83	1,095	レ→	○→	○→	○
突発性発しん	8 1.60	4 0.40	7 1.40		2 0.67	3 0.60	4 2.00	18 0.67	46 0.78	740	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ						1 0.20	1 0.50	3 0.11	5 0.08	23	→	→	→	
インフルエンザ	37 4.63	1 0.07	2 0.25		1 0.20	24 3.00		12 0.27	77 0.81	19,530	○→	○→	○→	◎
咽頭結膜熱	3 0.60	6 0.60		5 2.50		36 7.20		9 0.33	59 1.00	438	→	→	○→	◎
流行性角結膜炎		1 0.33							1 0.08	65	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33 6.60	29 2.90	22 4.40	2 1.00	3 1.00	18 3.60	1 0.50	92 3.41	200 3.39	3,279	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎							4 4.00	1 0.20	5 0.42	151	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症								6 0.22	6 0.10	335	→	→	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	4	1	3				2	2	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向				
	川崎病								1					
	不明発疹症	2							3	宮城県保健環境センターのホームページ http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※										76				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群											
	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
2015年 第20週	22.7	18.2	11.4	13.6	6.8	11.4	2.3	0.0	4.5	9.1	0.0	44
第21週	17.2	32.8	25.9	12.1	3.4	3.4	1.7	3.4	0.0	0.0	0.0	58
第22週	19.5	44.2	14.3	9.1	0.0	1.3	9.1	0.0	2.6	0.0	0.0	77

インフルエンザ定点

小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で95定点(県:51、仙台市:44)となりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第20週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(4.55)、福井県(1.91)、秋田県(1.70)である。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮城県(1.33)、島根県(1.30)、新潟県(1.29)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県(7.58)、山形県(5.43)、新潟県(5.42)が多い。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では大分県(14.39)、福井県(14.23)、宮城県(12.81)が多い。**水痘**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では大分県(1.81)、滋賀県(1.06)、宮城県(1.03)が多い。**手足口病**: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では沖縄県(4.65)、徳島県(4.22)、福岡県(3.68)が多い。**伝染性紅斑**: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では福島県(1.85)、滋賀県(1.75)、埼玉県(1.61)が多い。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では富山県(1.40)、香川県(1.00)、沖縄県(0.71)が多い。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 定点当たり報告数は増加した。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数

今週の全数報告疾病

※男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 仙台管内 男性2名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O8)
 - 仙台管内 男性1名
- 4類感染症: レジオネラ症
 - 仙南管内 男性1名
- 5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症
 - 仙台管内 男性1名、女性2名
 - クロイツフェルト・ヤコブ病
 - 石巻管内 男性1名
 - 侵襲性肺炎球菌感染症
 - 仙台管内 女性1名(第21週)
 - 梅毒
 - 塩釜管内 男性1名(第12週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 2例

今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- [伝染性紅斑]
 - 気仙沼管内で警報基準値を超えました。
- [咽頭結膜熱]
 - 石巻管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

- 感染性胃腸炎集団発生事例より
 - 気仙沼管内 第21週採取分 ノロウイルスGⅡ 4件
 - A群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者より
 - 仙南管内 第18週採取分 A群溶血性レンサ球菌 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第19週採取分 (5.4~5.10)	第20週採取分 (5.11~5.17)	第21週採取分 (5.18~5.24)
RSウイルス	0件	1件	0件
Aデングウイルス	0件	3件	1件
エンテロウイルス	0件	1件	0件
ライノウイルス	0件	0件	1件
単純ヘルペスウイルス	0件	0件	1件
ヒトメタニューモウイルス	0件	1件	0件

[カルバペネム耐性腸内細菌感染症]

グラム陰性菌による感染症治療において最も重要な抗菌薬であるカルバペネム系抗菌薬及びβ-ラクタム剤に対して耐性を示す腸内細菌科細菌による感染症です。院内感染の原因もあることから医療機関では特に注意が必要です。

[インフルエンザ]

仙南、石巻管内において患者数の増加がみられました。B型による集団発生の報告もあり、今後も注意が必要です。引き続き日常的な予防対策に努めてください。